

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐ
ための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示していま
す。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-MP40



警告

安全のために

電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
CDについて	7
MP3について	9
はじめに	12
まず、本機をリセットする	12
CD・ラジオの聞きかた	14
各部のなまえ	16
カードリモコンの操作	18
時計を合わせる	20

CD/MP3・MD

CD/MP3、MDを聞く	21
繰り返し聞く (リピート再生)	25
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	26
ディスクに名前をつける (カスタムファイル —ディスクメモ)	27
ディスクを名前で探す (リスト)	29

ラジオ

放送局を自動で登録する	30
放送局を手動で登録する	32
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	33
放送局を名前で探す (リスト)	35

サウンドの設定

DSOを設定する	36
イコライザーを使う (EQ3)	37
音のバランスを設定する (バランス) (フェーダー) (ATT)	39

その他の操作

音や表示などの設定を換える	40
ロータリーコマンダー(別売り)の 操作	41

使用上のご注意	44
故障かな?	47
保証書とアフターサービス	51
主な仕様	52
索引	54

警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの原因
となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り
付けと接続」の説明に従って、正しく取り
付けてください。正しい取り付けをしない
と、火災や感電の原因となります。

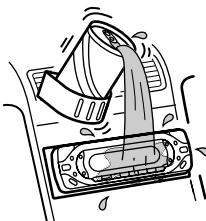


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



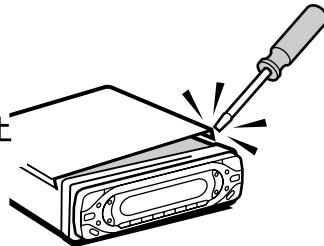
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

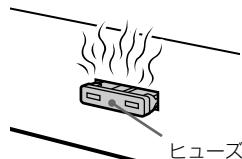


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のもの
をお使いください。規定容量を超えるヒュ
ーズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で、運転すると事故の原因となることがあります。

走行中はフロントパネルを開けない
車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、ディスクの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行してください。



電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ、発熱、破裂、発火、誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の (+) と (-) を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、セロハンテープなどで貼り付けない。



- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ



ディスクに紙などを
貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

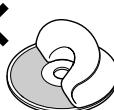
- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。

またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。

- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。

8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

[次のページへつづく](#)

CDについて（つづき）

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。
特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方に向へふきとってください。
エンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることができますので、使用しないでください。



著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合もあります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R（レコードブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD		
MP3ファイル		

- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R (レコードブル)、CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスク (CD-ExtraやMixed CDなど) もご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式（名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）。

　フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大半角31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）。フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet： ファイル名、フォルダーネ名は最大で64文字。

Romeo： ファイル名、フォルダーネ名は最大で半角128文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra： セッション1のトラックに音声（オーディオCDデータ）を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD： 1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声（オーディオCDデータ）を記録するフォーマット。

ご注意

- ファイル名、フォルダーネ名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
 - 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
 - マルチセッションで記録したディスク
 - セッションの追加が可能なディスク
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

[次のページへつづく](#)

MP3について(つづき)

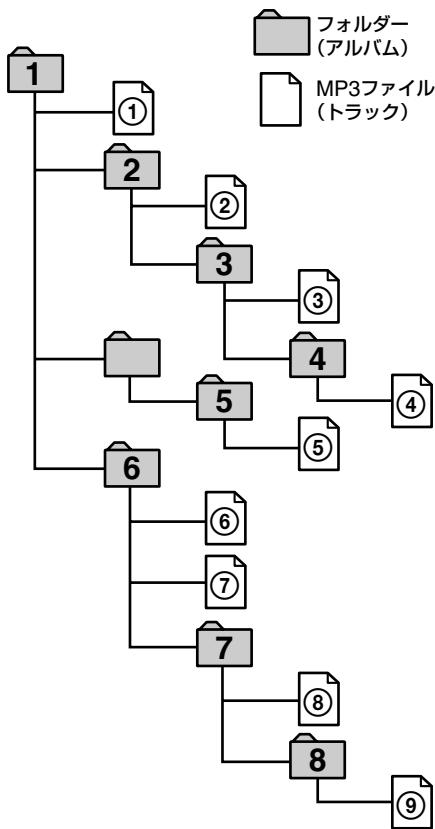
マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
オーディオCDデータは通常に再生し、他のデータは無音で再生します。(MP3ファイルは再生されません。)
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
 - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含む他のデータはとばします。
 - ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO MUSIC」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



第1階層 第2階層 第3階層 第4階層 第5階層
(ルート)

ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- ディスクに含まれるフォルダーは150個までです。(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーも含みます。)
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大300個までです。
ファイル名、フォルダーナーの文字数が多い場合は、300個以下になることがあります。
- 最大8階層まで再生できます。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダーナー・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定することができます。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

はじめに

- 本機はCDとMP3、ラジオに対応。

CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT

MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW (ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している)、マルチセッション対応

ラジオ：FM/AM

- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な3バンドイコライザーカーブ(EQ3)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

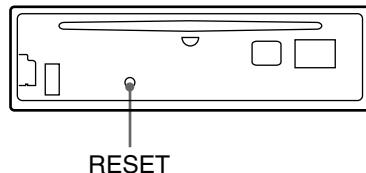
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのソニー製ロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し(13ページ)、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



ご注意

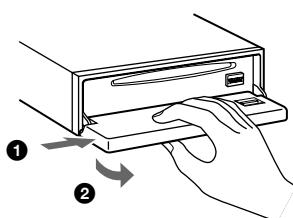
- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。
- RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示たくない場合は、M.DSPL(モーションディスプレイ)をOFFにしてください。(40ページ)

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。

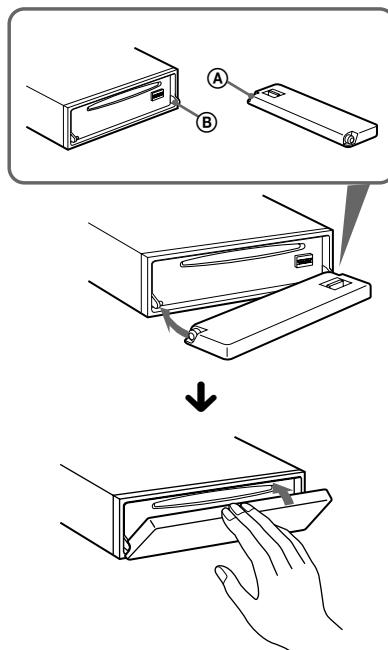


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズがつくおそれがあります。

取り付けかた

フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせて、軽く左側に押し込みながら取り付けます。



CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

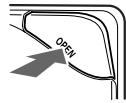
本機は8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因になりますので使用しないでください。

2 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。

1 フロントパネルを開ける

OPENボタンを押します。



CDを取り出す

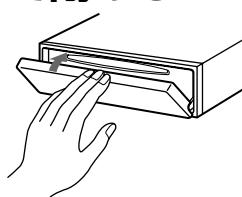


ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」表示に
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

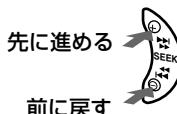
止める／電源を切るには
OFFボタンを押します。

3 フロントパネルを手で閉める



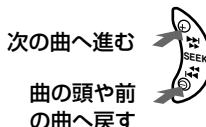
聞きたいところを探す (手動サーチ)

SEEKボタンを押し続けて、聞きたいところ
で離します。



曲の頭出しをする (自動選曲センサー(AMS))

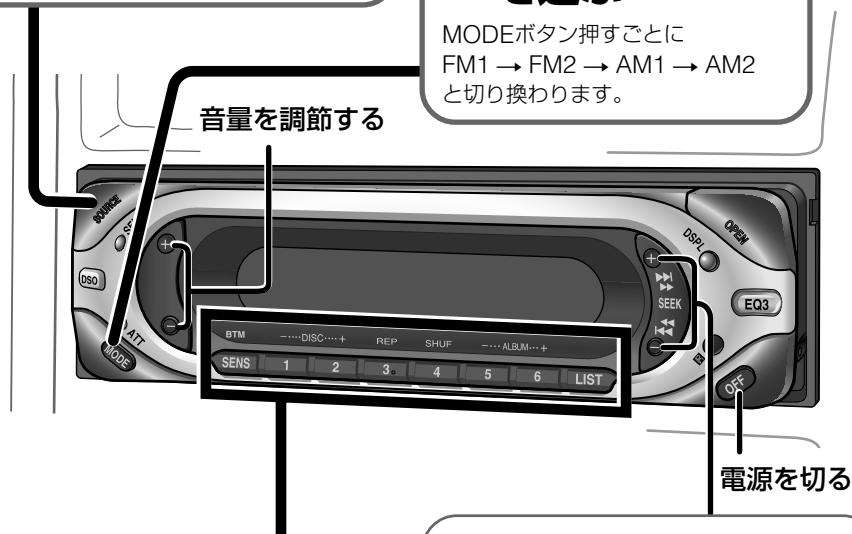
SEEKボタンをとばしたい曲の数だけ短く押
します。



ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

SOURCEボタンを押す。



3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。

くわしくは30~32ページをご覧ください。

2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタン押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

自動選局で受信する(自動選局)

SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

次の放送局を探す



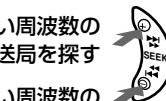
前の放送局を探す



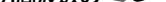
希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

高い周波数の放送局を探す

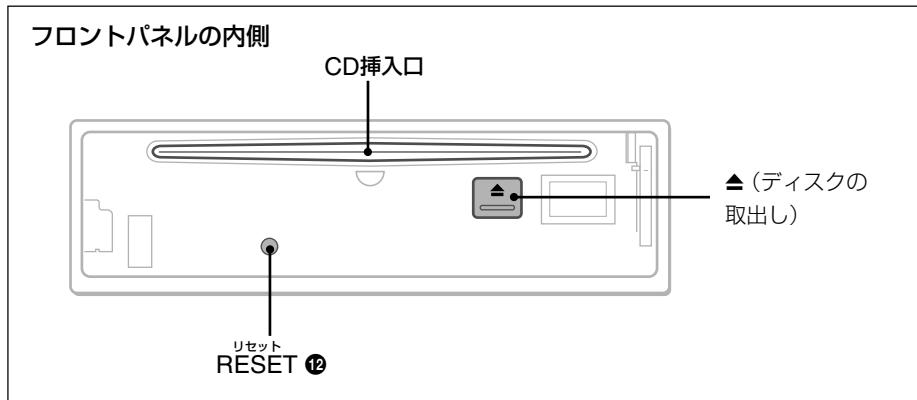
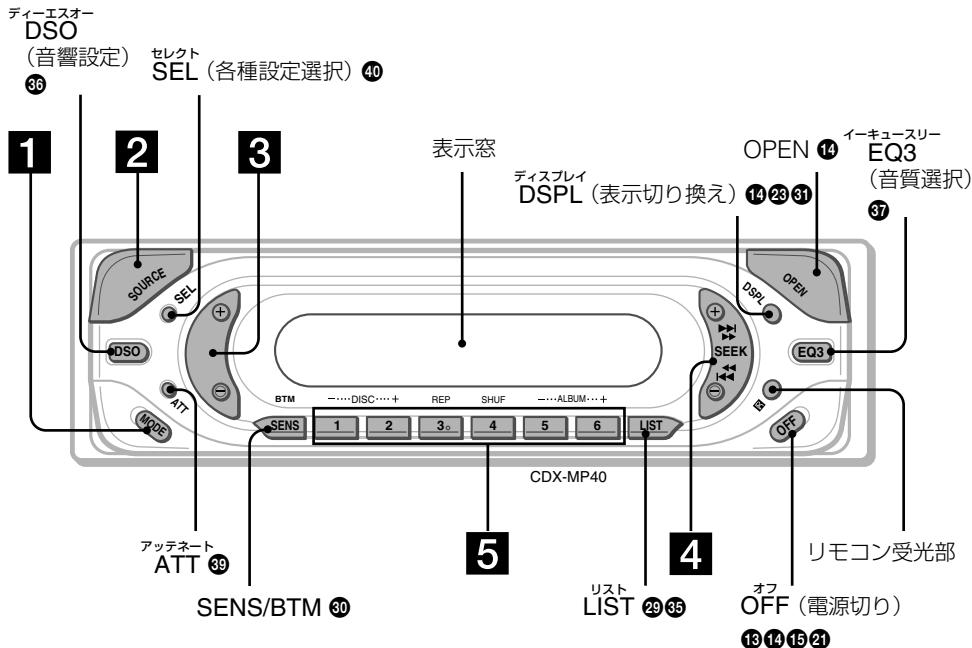


低い周波数の放送局を探す



各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



1 モード MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り替え 15 30 32

CD/MD^{*1} CD/MD機器の切り換え
②①②②

2 SOURCEボタン (ラジオ/CD/MD切り換え)

3 ボリューム Volume (音量調節)

+: 大きく
-: 小さく

4 SEEK (ラジオ選局/設定項目の選択)



ラジオ	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)
	15 31 62	15 31 32

CD/MD	次の曲へ 早送り (押し続ける)	前の曲へ 早戻し (押し続ける)
	14 22	14 22

5 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録／選択

CD/MD 1: DISC-ボタン*1 22
 ディスク
 2: DISC+ボタン*1 22
 リピート
 3: REPボタン 25
 ジャップル
 4: SHUFボタン 26
 アルバム
 5: ALBUM-ボタン*2 22
 アルバム
 6: ALBUM+ボタン*2 22

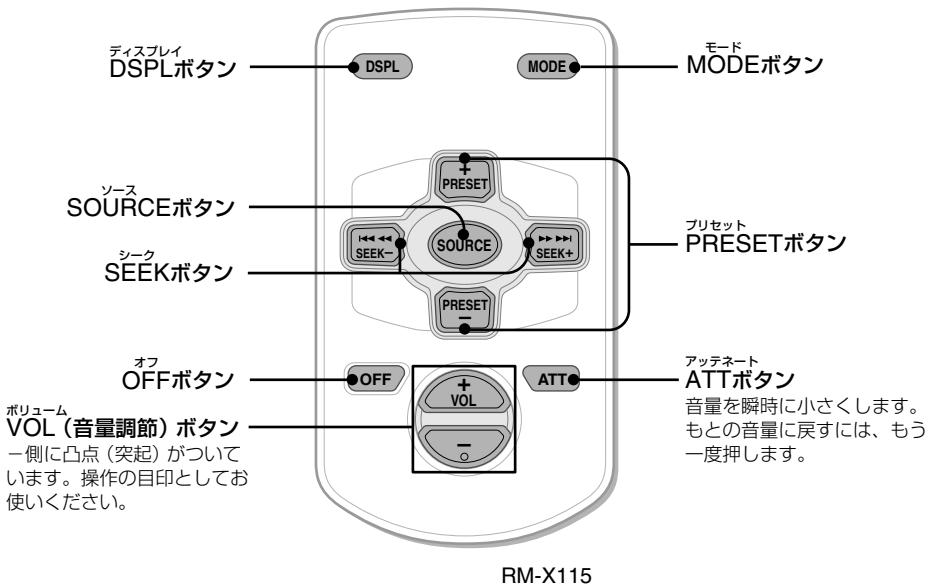
*1 別売りの機器が接続されているとき

*2 MP3再生時のみ

ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。
OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリー上がりの原因となります。

カードリモコンの操作

本体のボタンと同じボタンを押すことで、カードリモコンで操作することができます。本機に特有のボタンについては、本体で操作を行ってください。



RM-X115

ディスクやアルバムを選ぶには

カードリモコンのPRESET+/-ボタンでディスクやアルバムを選ぶことができます。

本機でCDを再生している場合は

(別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、PRESET+/-ボタンを押して再生したいアルバムを選びます。
押し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合は

- PRESET+/-ボタンを押すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。
ボタンを離してから2秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。
- MP3再生時に、PRESET+/-ボタンを押し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。
ボタンを離してから2秒以内に再びボタンを押すと、1つずつ送れます。

連続して曲の頭出し（自動選曲センサー(AMS)）をするには

SEEK+/-ボタンを押すと、前の曲や次の曲に押した数だけスキップします。連続して送るには、ボタンを離してから2秒以内に再びボタンを押し、とばしたい曲の数だけ短く押します。

ご注意

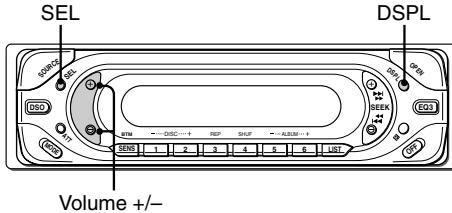
本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためにには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(45ページ)をご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



1 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。

「時」表示が点滅します。



- ① Volumeボタンの+または-を押して「時」を合わせる。
- ② SELボタンを押す。
「分」が点滅します。
- ③ Volumeボタンの+または-を押して「分」を合わせる。

2 DSPLボタンを押す。



設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

CD/MP3、 MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製MP3対応CD機器またはMD機器を接続して、CD、MP3ファイル、MDを再生できます。

本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。

CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*¹ 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

*² MP3再生時のみ表示します。ID3タグ表示中はアルバム番号が出ません。

*³ MP3とCD TEXT、MD再生時のみ表示します。

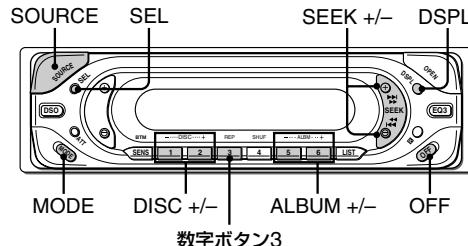
*⁴ 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生します。



聞きたい機器を選ぶ

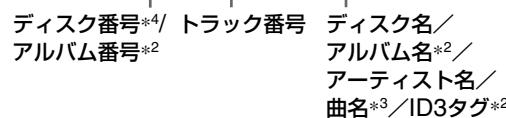
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

CD/MDユニット

番号*¹



再生経過時間



- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）を選ぶ。

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）*¹ →
CD3（CD機器2）*¹

MDの場合*¹

MD1（MD機器1）→ MD2（MD機器2）→
MD3（MD機器3）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

[次のページへつづく](#)

CD/MP3、MDを聞く（つづき）

オーディオCDまた、MP3 ファイル以外のディスク再 生時のご注意

- 本機の場合は「NO MUSIC」と表示した後、時計表示(OFF)になります。
 - MP3対応のCD機器の場合は「NO MUSIC」と表示し、次のディスクを再生します。
 - MP3未対応のCD機器の場合はCDと認識し無音再生します。

MP3再生時のご注意

MP3再生時、初めにディスク内の情報（アルバム、トラック数など）を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「READ」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に
DISC-（数字1）ボタンまたはDISC+（数字2）
ボタンを押す。

押すたびに、前のディスクまたは次のディスクに1枚ずつ切り換わります。

聞きたいアルバムを選ぶには

(MP3再生時のみ)

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に、
ALBUM- (数字5) ボタンまたはALBUM+ (数字6) ボタンを押す。

押すたびに、前のアルバムまたは次のアルバムに1つずつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を短く押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLL」または「LLL」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1(別売り)を再生するには

SOURCEボタンを押して「MS」または「MD*」を選ぶ。

「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して「MS」を選びます。

例) MGS-X1をソースセレクター（別売り）の入力端子2に接続した場合、MODEボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

MD1 (MD機器1) → MS (MGS-X1) →
MD3 (MD機器2) → ⋯ → MD1

表示窓の見かた

ちょっと一言

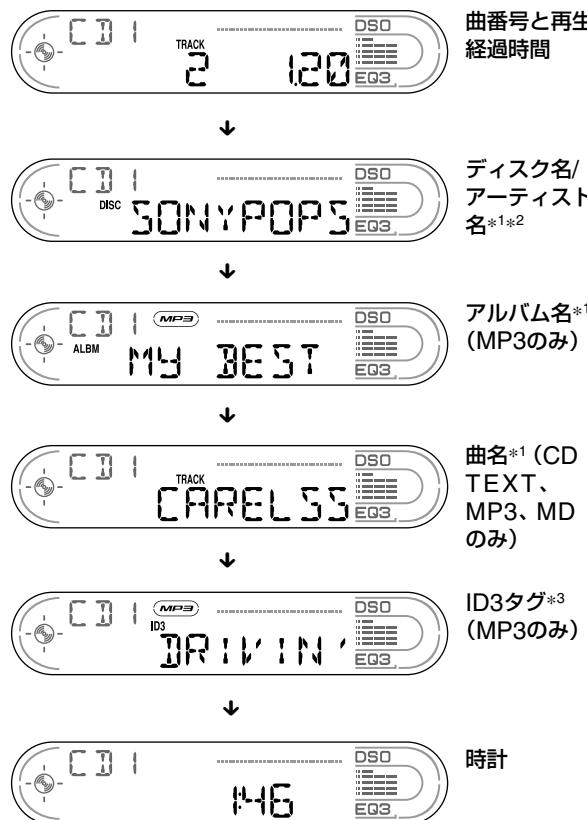
- 本機ではCD TEXTやMP3ファイル、MDに記録されているディスク／アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO NAME」と表示されます。
- CD TEXTまたはMP3ファイルに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(24ページ)で「A.SCRL-ON」にしておくと、ディスクやアルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3のID3タグは「曲名／アーティスト名／アルバム名」と順に表示します。

ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのは、MP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかつたりスクロールしないことがあります。
- MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate : 可変ビットレート) のMP3ファイルを再生したとき
 - 早送り、早戻し (手動サーチ) をしたとき

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

CDの再生の場合



*1 ディスク名、アルバム名、曲名がついていないときは、「NO NAME」と表示された後、再生経過時間表示になります。

*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモ(27ページ)の名前を表示します。

*3 MP3にID3タグがついていないときは、「NO ID3」と表示された後、再生経過時間表示になります。
ID3タグはver.1にのみ対応しています。

表示可能な文字コードはASCIIと半角カナ (JolietフォーマットのときはASCIIのみ) で、それ以外の文字は「*」で表示します。

ID3タグの曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。

次のページへつづく

CD/MP3、MDを聞く(つづき)

ご注意

- オートスクロールがOFFの状態でもDSPLボタンを押した時には、ディスク名、アルバム名(MP3のみ)、曲名、ID3タグ(MP3のみ)のスクロールができます。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、全ての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。

オートスクロールの設定

MP3、CD TEXT対応のCDまたはMDを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、オートスクロール設定を「ON」にしておくと8文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示することができます。

CDまたはMDの再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押す。

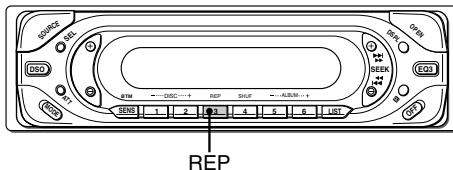


約2秒後に、通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

繰り返し聞く (リピート再生)

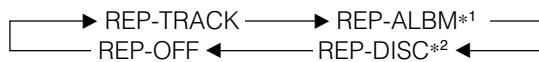
再生中の曲のみ、アルバム内の全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



CD
/ MP3 · MD

CDまたはMDを再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中の曲を繰り返す 「REP-TRACK」にする。
- 再生中のアルバム内の曲を繰り返す 「REP-ALBM」*¹にする。
- 再生しているディスクを繰り返す 「REP-DISC」*²にする。

*¹ MP3ファイル再生時のみ表示されます。

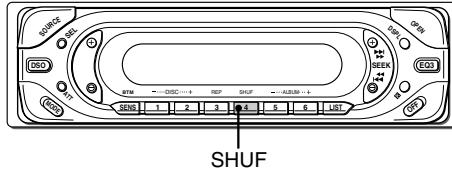
*² ソニー製CD/MD機器接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには
REPボタンを押して「REP-OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ご注意

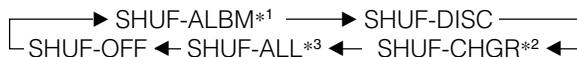
「SHUF-ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF-CHGR」、「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDの再生中にSHUFボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには
.....「SHUF-ALBM」*¹にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには
.....「SHUF-DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには
.....「SHUF-CHGR」*²にする。
- 再生しているソース (CDまたはMD) すべての機器の全ディスク内の曲を順不同に再生するには
.....「SHUF-ALL」*³にする。

*¹ MP3ファイル再生時のみ表示されます。

*² ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

*³ ソニー製CD機器を1台以上、またはソニー製MDチェンジャーを2台以上接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには
SHUFボタンを押して「SHUF-OFF」選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル —ディスクメモ)

カスタムファイルとは?

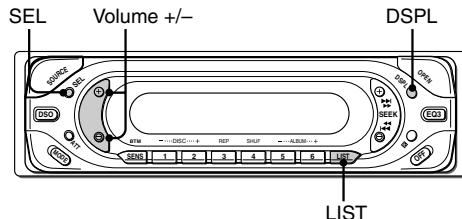
CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。

ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能を操作することはできません。

ちょっと一言

- 手順3でVolumeボタンの+または-を押すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔
_ ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字と
カナは使用できません。
- スペースを入れたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し
押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入
直します。



CD
/ MP3 · MD

1 名前をつけたいCDを再生する。

2 LISTボタンを2秒以上押し続ける。



3 Volumeボタンの+または-を押して入力する文
字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動さ
せる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押して
「_」を入力します。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終えたら
LISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前がみつからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(27ページ)の手順3で、すべての文字に「_」を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

1 CDチェンジャー内のCDを再生中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。

2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。

登録した名前が表示されます。

3 Volumeボタンの+または-を押して、消去するディスクの名前を選ぶ。



4 SELボタンを2秒以上押し続ける。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順3~4を繰り返す。

5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

ディスクを名前で探す (リスト)

次の場面に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3ファイル/CDを再生する場合*
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

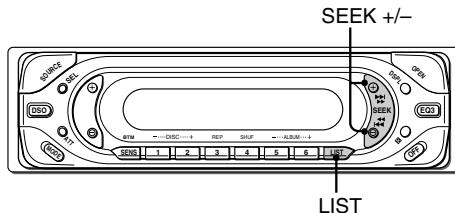
* ディスクにディスクメモ機能 (27ページ) で名前をつけてからこの機能をお使いください。

ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
 - 「NO DISC」：ディスクが入っていない。
 - 「NO NAME」：
 - 名前をつけていない。
 - 本機またはCD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「NOT READ」：ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。
- 5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。



1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたいディスク名を表示させる。

3 SEEKボタンの+または-を押して、聞きたい曲を選ぶ。

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

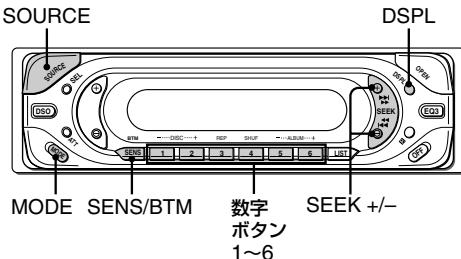
受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに
 FM1 → FM2 → AM1 →
 AM2 → FM1
 と切り換わります。

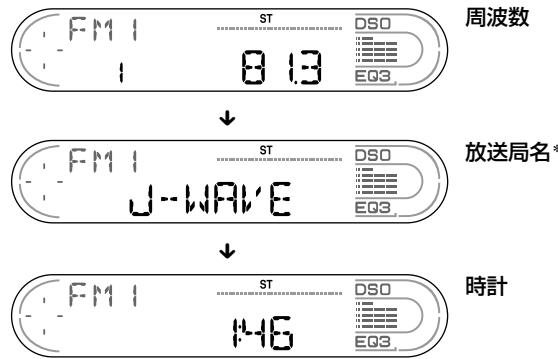
ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。



表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り替えます。



* 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについてくわしくは、33ページをご覧ください。

ちょっと一言

SEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押すと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEKボタンの+または-を押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。ラジオ受信中にSENS/BTMボタンを繰り返し押して、「LOCAL-ON」を選びます。

ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを2回押して「LCL」を消灯させます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

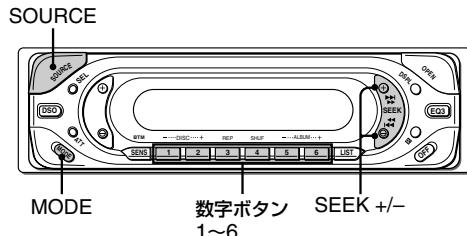
FM受信中に、SENS/BTMボタンを繰り返し押して、「MONO-ON」を選びます。

ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを繰り返し押して、「MONO-OFF」を選びます。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。
- SEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押すと 0.1MHz (または9kHz) ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

- 3 **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、SEEKボタンの+または-を押し続ける。
- B** 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
SEEKボタンの+または-を押して離す。
- 自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。



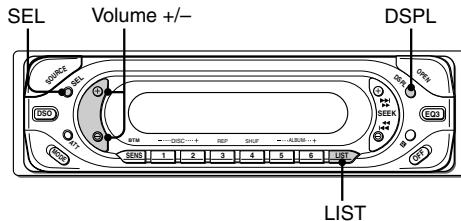
選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

放送局に名前をつける (ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけるれます。

ちょっと一言

- 手順3でVolumeボタンの+または-を押すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔) ↔ < ↔ . ↔
↔ _ ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字と
カナは使用できません。
- スペースを入れたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し
押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メモリーがいっぱいになると「MEM FULL」と表示
し、それ以上放送局名をつけることができません。



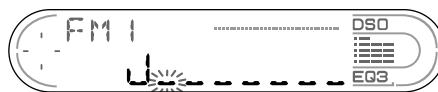
ラジオ

1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 LISTボタンを2秒以上押し続ける。



3 Volumeボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押して「_」を入力します。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終えたらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

放送局に名前をつける(つづき)

ちょっと一言

- ・「放送局に名前をつける」(33ページ)の手順3で、すべての文字に「_」を入力して名前を消すこともできます。
- ・放送局名がすべて消去された場合は、手順4で「NO DATA」と表示します。

放送局の名前を消去する

- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 Volumeボタンの+または-を押して、消去する放送局名を選ぶ。



- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返す。

- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。

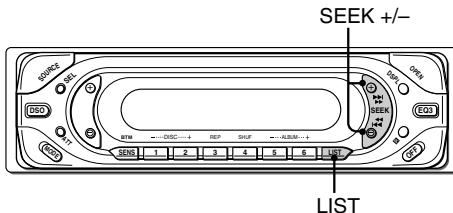
通常の画面が表示されます。

放送局を名前で 探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、33ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには LISTボタンを押します。
- 5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。



1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 LISTボタンを繰り返し押して、放送局を選ぶ。

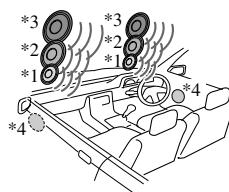
3 SEEKボタンの+または-を押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

バーチャルスピーカーのイメージ



*1 DSO-1

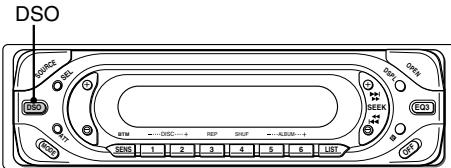
*2 DSO-2

*3 DSO-3

*4 DSO-OFF

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「OFF」にすると聞きやすくなります。
- DSO設定は各ソースごとに記憶されます。



1 設定するソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。

2 DSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。



DSOボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

→ DSO-1 → DSO-2 → DSO-3 → DSO-OFF →

約1秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには

設定の手順2で「OFF」を選びます。

イコライザーを使う (EQ3)

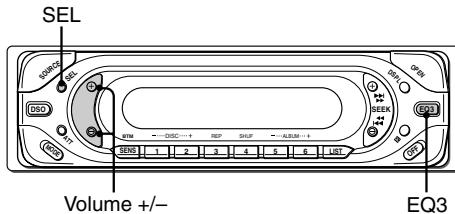
本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

ご注意

DSO設定中は、DSOの効果を最適化するためイコライザーの効果を抑えてあります。

ちょっと一言

イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。



イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生／受信する。
- 2 EQ3ボタンを押してイコライザーカーブを選ぶ。

EQ3ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

→ XPLOD → VOCAL → CLUB → JAZZ →
OFF ← CUSTOM ← ROCK ← NEW AGE ←



イコライザーを解除するには
手順2で「OFF」を選びます。

[次のページへつづく](#)

イコライザーを使う(つづき)

ご注意

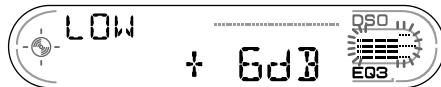
EQ3 OFFでは、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- レベルの調節可能範囲は±10dBです。

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。
- 2 EQ3ボタンを押してイコライザーカーブを選ぶ。
- 3 イコライザーカーブを調節する。
 - ① SELボタンを繰り返し押して音域を選ぶ。
押すごとに、表示は次のように切り換わります。
LOW→MID→HI→(BAL→FAD)
 - ② Volumeボタンの+または-を押してレベルを調節する。

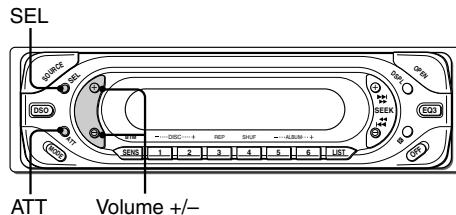


- ③ 手順①と②を繰り返して、イコライザーカーブを調節する。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには
設定の手順①または②でSELボタンを2秒以上押し続けます。

音のバランスを設定する

(バランス) (フェーダー)
(ATT)



出力バランスを調節する

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオ) を再生／受信する。
- 2 SELボタンを繰り返し押して、「BAL」または「FAD」にする。

バランス (BAL) の設定表示



BAL : 左右のスピーカーバランス

FAD : 前後のスピーカーバランス

- 3 Volumeボタンの+または-を押して、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

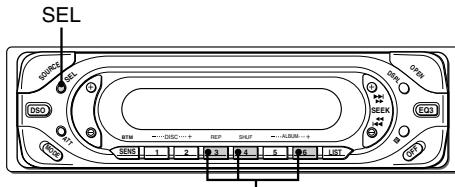
音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

音や表示などの設定を換える



数字ボタン3、4、6

ご注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

設定の種類	設定内容
「A.SCRL」* ¹	MD、MP3またはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(24ページ)
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。
「1」	→ CDやMDの再生中またはラジオ受信中にデコレーションラインを表示し、OFFボタンを押して時計表示にしているときにデモディスプレイを表示する。
「2」	→ CDやMDの再生中またはラジオ受信中にデコレーションラインを表示し、OFFボタンを押して時計表示にしているときにデモディスプレイを表示しない。
「OFF」	→ CDやMDの再生中またはラジオ受信中にデコレーションラインを表示せず、OFFボタンを押して時計表示にしているときにデモディスプレイを表示しない。
「BEEP」* ²	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

*¹ CDまたはMDを再生中の場合のみ表示します。

*² 内蔵パワーアンプが使用されている場合のみ、ビープ音がなります。

設定を換える

SELを押しながら、希望する数字ボタンを同時に押す。

「A.SCRL」: SELボタン + 数字ボタン3

「M.DSPL」: SELボタン + 数字ボタン4

「BEEP」: SELボタン + 数字ボタン6

モード設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

モード設定を解除するには

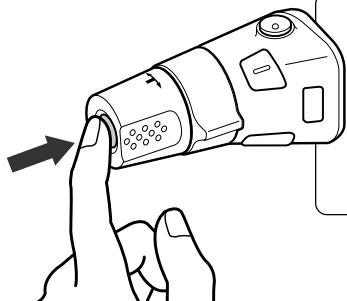
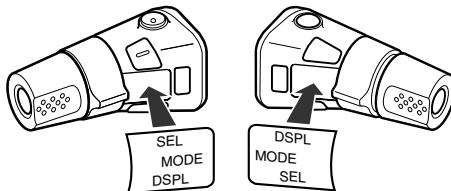
SELボタンと数字ボタンを同時に押す。

ロータリーコマンダー（別売り）の操作

本機はロータリーコマンダー（RM-X4S）で操作できます。

ロータリーコマンダーのシールについて

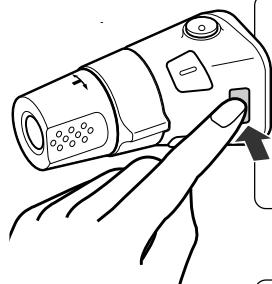
ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



ソース SOURCEボタンを押すと

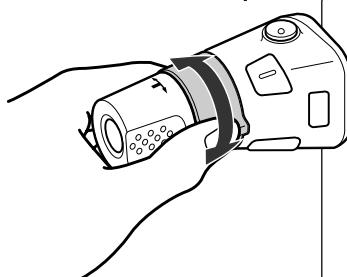
本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
ラジオ (FM/AM) → CD → MD*1 → ラジオ
と切り換わります。

*1 別売りの機器を接続時のみ表示します。



モード MODEボタンを押すと

ラジオの時 : FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
CDの時 : CD1 → CD2 → ⋯ → CD1
MDの時 : MD1 → MD2 → ⋯ → MD1
と切り換わります。



シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ 自動的に放送局を受信する

回し続けると特定の周波数に合わせられます。

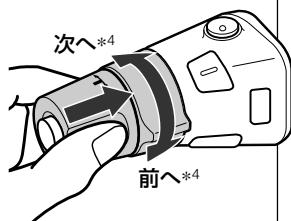
CD/MD .. 曲の頭出しをする

つまみを離してから2秒以内に再び回し続けると、
連続して曲がスキップします。

回し続けると早送り／早戻しになり、離すと再
生に戻ります。

次のページへつづく

ロータリーコマンダー(別売り)の操作(つづき)



ボリューム VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM 登録した放送局を順に受信する

CD/MD ディスクを切り換える*2

アルバムを切り換える*3

*2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

*3 MP3再生時のみ切り替えます。

ディスクやアルバムの切り換えかた

本機でCDを再生している場合

(別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいアルバムを選びます。

回し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合

- VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。

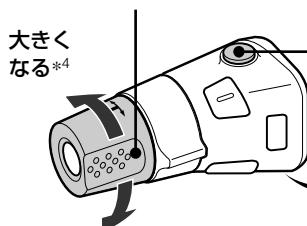
つまみを戻してから2秒以内に再び押しながら回すと、回し続けている間は連続して送れます。

- チェンジャー内のアルバムを選ぶには

① VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回し続けると、アルバム選択モードになります。

② 2秒以内に再びSEEK/AMSつまみを短く回すと、回すごとにアルバムを1つずつ送れます。

音量を調節する (VOLつまみを回す)

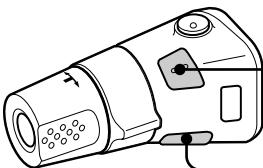


音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)

解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生／受信の停止 (OFFボタンを押す)

*4 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

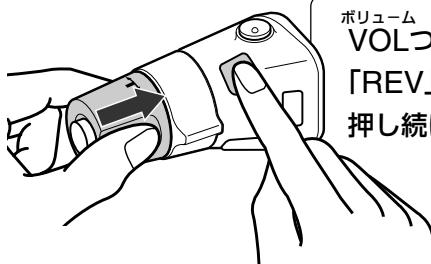


音量調節・音質選択する (SELボタンを押す)
セレクト
本体のSELボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)
ディスプレイ
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



ボリューム
VOLつまみを押しながら、「NORM」または
「REV」が表示されるまでSELボタンを
押し続ける

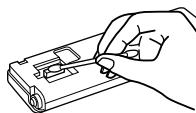
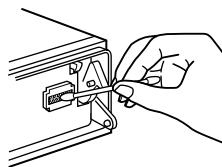
「NORM」 初期設定の回転方向。
「REV」 運転席の右側に取り付けたときの
回転方向。

使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

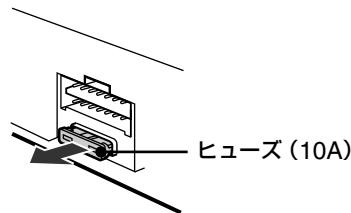
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがあります。故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもありますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

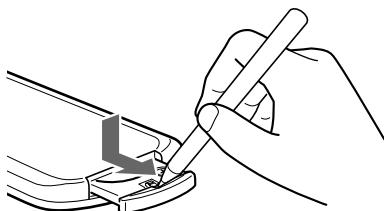
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくもることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

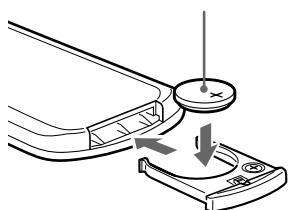
電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



\oplus を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

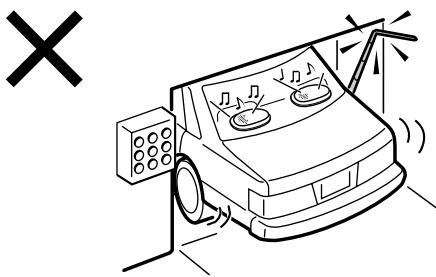
[次のページへつづく](#)

使用上のご注意 (つづき)

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 →ソニー製MDLP対応機器（MDX-66XLPなど）で再生してください。MP3未対応のCD機器でMP3ディスクを再生している。 →ソニー製MP3対応機器（CDX-757MXなど）で再生してください。
共 通	<p>メモリーの内容が消えてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。 <p>ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。</p> <ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている。 →BEEPの設定（40ページ）を「ON」にしてください。内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 →コネクター部をクリーニングする。（44ページ）
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを押し続けてください。
オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
共通ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
ロータリーコマンダー(別売り)で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかりと接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
「-----」表示が消えない。	名前入力モードに入った。 →LISTボタンを2秒以上押し続けてください。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出でてくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のディスクが入っている。ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル(レベル)面を上にして入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が60°を越えている。本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。
CDMD MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">MP3未対応のCD機器の場合はCDと認識し、無音再生します。ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。MP3ファイルに拡張子が付いていない。 →記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。
アルバム名、曲名、ID3タグが「*」になる。 CD TEXTの文字が「*」になる。	本機で表示できる文字は、アルファベット大文字、数字、特殊記号(+,-,*,/,＼,/,<,.,_)です。それ以外の文字は「*」と表示します。 アルファベット小文字は大文字に変換されて表示します。 漢字、カナは表示できません。

症状	原因・処置
ラジオ	<p>受信できない、雑音しか出ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。
SEEKボタンを押しても聞きた い放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →「LCL」を消灯してください。（31ページ） 電波が弱くて自動選局できない。 →SEEKボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
サウンド設定	<p>ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください。（31ページ） <p>音が出ない、または 音が小さい。</p> <p>左右のスピーカー出力のバランス（BAL）、フロントとリアの出力レベル（FAD）の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →BAL、FADを調節してください。（39ページ）</p>

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかの録音済みのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
HI TEMP	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器を入れる。
NO MUSIC	本機またはMP3対応のCD機器に、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

ID3 tag ver. 2について

ID3 tag ver.2 が入っている曲を再生した場合、下記の現象が起こりますが、故障ではありません。

- ID3 tag ver.2 部分(曲頭)を読み飛ばす時は無音になります。無音時間はID3 tag ver.2の容量によって異なります。

- ID3 tag ver.2部分を読み飛ばすときの時間表示は不正確になります。

また、128kbps以外のビットレートの曲の場合も、再生時の時間表示が不正確になります。

- ID3 tag ver.2 はMP3変換ソフトによってMP3ファイルを作成した場合、自動的に入る場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択性度	75dB (400kHz)
SN比	67dB (ステレオ) 69dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ) 0.3% (モノラル)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4~8Ω
最大出力	50W×4 (4Ω負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用) ATT入力端子 (ナビ用)
トーンコントロール	低音 : ±10dB (60Hz) (XPLOD) 中音 : ±10dB (1kHz) (XPLOD) 高音 : ±10dB (10kHz) (XPLOD)
本体寸法	約178×50×180mm (幅／高さ／奥行き)
取付寸法	約178×50×161mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) カードリモコン RM-X115 (1) (リチウム電池 (1) を含む) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) ケース (1)

別売品	DVDチェンジャー (10枚) DVX-100S CDチェンジャー (10枚) CDX-757MXなど MDチェンジャー (6枚) MDX-66XLPなど MG-MSシステムアップ プレーヤー MGS-X1 パワーアンプ XM-754SXなど 外部入力セレクター XA-300 ソースセレクター XA-C30 ロータリーコマンダー RM-X4S バスケーブル (RCAピンコード 付属) RC-61 (1m), RC-62 (2m) バス延長コード RC-UJ305 (0.5m) RCAピンコード RC-64 (2m), RC-65 (5m) 電源コード RC-39	ご注意 本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
-----	--	--

索引

五十音順

ア行

- イコライザー 37~38
エラー表示 50
オートスクロール 24、40
音量 17~18

カ行

- カスタムファイル 27~28

サ行

- スクロール 23~24、40
ステーションメモ 33~34
シャッフル 26
ステレオ放送 31
スピーカーバランス 39

タ行

- ディスクメモ 27~28
登録
　自動登録 30
　手動登録 32
時計 20

ナ行

- 名前
　探す 29
　消去する 28、34
　つける 27、33
　表示する 23、31

ハ行

- バランス 39
ヒューズ 44
表示窓
　CD/MD 23
　ラジオ 31
フロントパネル 13
ベストチューニングメモリー

　(BTM) 30

- ボタンの音 40

マ行

- モノラル 31

ラ、ワ行

- ラジオ 15、30~35
自動選局 31
登録 30、32
名前で探す 35
名前を消去する 34
名前をつける 33
リスト 29、35
リセット 12
リピート 25
リモコン
　カードリモコン
　 18~19
ロータリーコマンダー
　 41~43

アルファベット順

- A.SCRL 24、40
ATT 39
BAL 39
BEEP 40
BTM 30
CD/MP3、MD
　 14、21~29
CD TEXT 21
EQ3 37
DSO 36
FAD 38
ID3 tag 23
LOCAL 31
MDLP 21
M.DSPL 40
MONO 31
MP3 9~11、21~29
REP 25
SHUF 26

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● **ナビダイヤル***  **0570-00-3311**

(全国どこからでも市内通話料をご利用いただけます)

● **携帯電話・PHSでのご利用は*** **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● **FAX** **0466-31-2595**

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になりますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材に紙材料を使用しています。
- 外箱の印刷にVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Korea